

定置用燃料電池事業にかかわる新会社の設立について

新日本石油株式会社(社長:西尾 進路、本社:東京都港区、以下「新日石」という。)と三洋電機株式会社(社長:佐野 精一郎、本社:大阪府守口市、以下「三洋電機」という。)は、2008年4月をめどに燃料電池事業にかかわる新会社を設立することについて合意しましたので、お知らせいたします。

地球環境保全への期待が高まるなか、普及が期待される定置用燃料電池については、国の助成事業として2005年度から実施されている「定置用燃料電池大規模実証事業」が2008年度で終了予定であり、2009年度からは本格販売が始まるものと想定されます。

このような状況の下、両社が将来にわたり燃料電池事業分野の市場で主導的な地位を確保するためには、開発のスピードアップ、システムの性能および信頼性の向上、製造効率最適化によるコストダウンが喫緊の課題となっております。今回、本事業分野で提携関係にある両社で様々な検討を行った結果、合併により新会社を設立するのが最適であるとの結論に達したものです。

今後もこれまで築き上げてきた技術力や各種ノウハウを基に、将来の燃料電池の普及に向けて様々な施策に取り組んでまいります。

記

1.新会社の概要

- (1) 会社名称:未定
- (2) 代表者:未定
- (3) 役員:代表取締役社長、取締役2名、監査役1名(新日石より派遣)
- (4) 本社・事業所:群馬県邑楽(おうら)郡大泉町坂田一丁目1番1号(三洋電機 東京製作所 内)
- (5) 資本金:1億円
- (6) 株主構成:新日石 81%、三洋電機 19%
- (7) 設立日:2008年4月(予定)

2.新会社設立方法

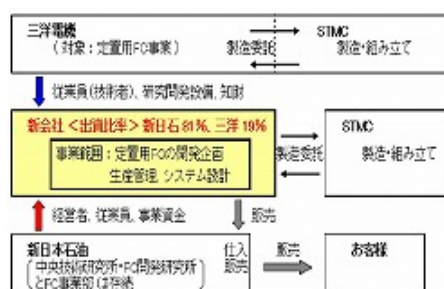
新設分割により三洋電機が定置用燃料電池事業の新会社を設立し、その発行済み株式の81%を新日石が取得するもの。

3.対象事業

定置用燃料電池事業

4.事業概要

- (1) 新会社で、燃料電池システムの開発企画・システム設計・生産管理を実施
- (2) 製造・組み立てを、三洋東京マニュファクチャリング株式会社(以下「STMC」)に委託
- (3) 新日石は、新会社からシステムを仕入れ、お客様へ販売



組織のイメージ